

● 第70回数理社会学会大会時のワンステップアップ・セミナーのご案内

第70回オンライン大会前日に第20回ワンステップアップ・セミナーを、下記の要領で開催します。三浦麻子先生を講師とし、「ウェブ調査データ収集の方法と実践」についてご講義いただきます。コロナ禍の続くなか、広く社会科学にたずさわる研究者にとって、ウェブ調査のもつメリットが高まっています。この機会にふるってご参加ください。

1. 題目：ウェブ調査データ収集の方法と実践
2. 講師：三浦麻子（大阪大学）
3. 日時：2021年3月7日（日）15:00～17:00
4. 場所：オンライン（Zoom開催）
5. 内容：

本セミナーでは、調査によるデータ収集の実施形態として、長らく主流だった紙筆版に取って代わって急速に普及しているウェブ調査について解説する。

ウェブ調査では、当初からデータを電子化した形で入手でき、画像や音声など文字以外を利用した刺激を呈示したり、質問内容をダイナミックに変化させたりする仕掛けを施すのが容易である。こうした点は従来の紙筆版調査と比べて大きなメリットだし、インターネットが十分に普及した現在ではサンプリングバイアスの懸念も小さくなり、協力者にとっても回答のコストは低いと考えられる。一方、参加コストが低く、誰でも手軽に参加できるというのは、言い換えれば「参加環境を制約できない」ということである。回答環境が参加者任せとなると、回答に際する態度を調査者がコントロールすることは不可能である。

多くの利点をもつウェブ調査だが、研究者はそれに安住するのではなく、その先を常に考える必要がある。本セミナーでは、講師が手がけてきた諸研究で得られた知見を紹介することを通して、参加者ご自身が、ウェブ調査という手法がどのような研究目的とフィットするものかを考えるきっかけとなればと考えている。

なお、社会調査と心理調査では、大きな意味で何を知りたいかが異なることから、調査票作成や対象者選定など計画のどんなところへの「こだわり」が強いかも異なる。講師は心理学者であり、社会調査の経験は豊かとはいえない。そのため、本セミナーでははじめに、こうした差異があまり影響しないだろう方法のごく基礎的部分について、初心者を対象に解説する。その後、具体的な実践に関わるアドバイスについて、参加者からの相談内容に基づくカウンセリングによって行う。事前応募を優先するが、時間の許す限り当日飛び入りの相談も歓迎する。

6. 目標：
 - ・ウェブ調査の利点と問題点を知る
 - ・どのような研究意図とフィットする研究手法であるかを考える
7. 扱うトピック：
 - (1) ウェブ調査の利点
 - (2) ウェブ調査の問題点
 - (3) 「一般市民」サンプルの調達先ごとの特徴
 - (4) 個別カウンセリング

8. テキスト：特になし（資料配付）

参考資料：（以下に目を通すことを推奨します）

- (1) 三浦麻子, 2020, 「心理学研究法としてのウェブ調査」『基礎心理学研究』39(1): 123-131.
(<https://doi.org/10.14947/psychono.39.4>)
- (2) 三浦麻子, 2019, 「輿論科学協会創立 74 周年記念講演 ウェブ調査における回答者の努力の最小限化：Satisfice 行動がデータの質に及ぼす影響」『市場調査』304: 4-29.
(<https://ci.nii.ac.jp/naid/40022156211/>) ※PDF 提供なし

9. 参加費：無料

10. 定員：なし（Zoom の定員は 500 名まで）

11. 参加資格：会員・非会員を問いません。

12. 申し込み：以下の URL に、ワンステップアップ・セミナーの参加登録をお願いします。参加登録の締め切りは、2021 年 2 月 28 日（日）です。

<https://forms.gle/ZvY6h9eeDnqMrQHRA>

13. 具体的な相談内容の応募方法

本セミナーでは、参加者の方の具体的なウェブ調査の計画や、検討事項について、講師の三浦麻子先生にカウンセリングしていただける時間を多くとる予定です。以下の(1)~(2)のいずれかの方法で、相談をお寄せください。貴重な機会ですので、ふるってご応募ください。

- (1) 参加申し込みフォーム内の自由回答欄に、できるだけ詳しく、相談内容を記載してください。
- (2) 具体的な調査の予定や研究計画がある方は、以下の要領で、数理社会学会研究事務局までお送りください。
 - ・ファイルの形式：A4 横書き 5 枚程度までを目安に、Word ファイルまたは PDF ファイル。
 - ・相談内容：調査の目的、対象、リサーチ・クエスチョン、仮説、指標、調査票案、悩んでいることなどを適宜ご記入ください。
 - ・基本情報：お名前、ご所属、e-mail アドレス、会員・会員非会員の別、一般・学生の別をお知らせください。
 - ・送付先：jams.research@gmail.com（研究活動委員会事務局）

※応募者多数の場合は、数理社会学会会員を優先する可能性があります。ご了承ください。

（研究理事・石田淳）